

India EV Market Trend Update 2025-Jan



INTAGE INDIA Pvt.Ltd.

* The copyright of this report is owned by Intage India Pvt. Ltd./ Intage group.

* In the event that damages or other troubles occur to the user or a third party due to the reprint or citation, Intage India Pvt. Ltd./ Intage group shall not be liable for it.

本資料の内容

目次

会計年度別のEV販売台数	P3
FY24 全体に占めるBEV/ハイブリッドの割合	P4
カテゴリー別販売台数比較	P5
会計年度別電動2輪車販売推移	P6
E-2W 地域別販売台数 FY 23-24	P7
メーカー別販売シェア: FY24	P8
販売台数トップ5 EVブランド: 2025年1月期	P9
ハイブリッド車の販売台数及びEV車との比較: 2025年1月期	P10
EVに関する政策の動向	P11
4輪に関する政策 AUTO PLI 概要	P12
EV関連ニュース: 2025年1月	P13

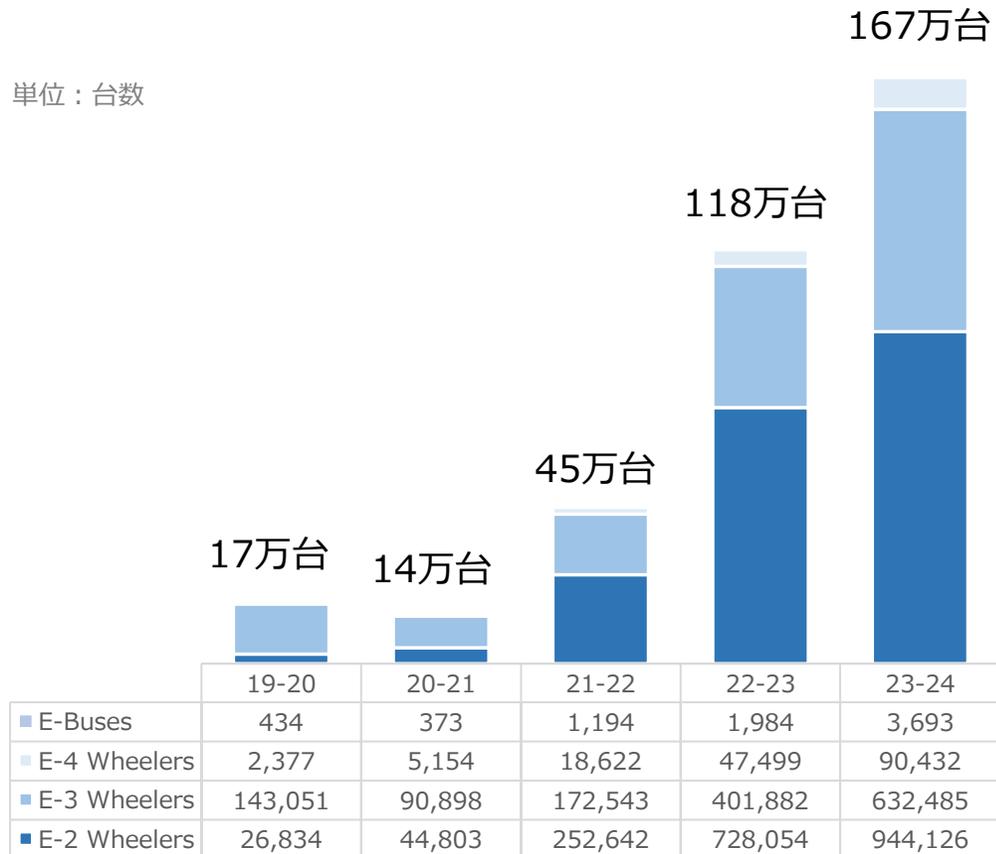
略称	用語
EV	Electric Vehicle (電動車)
ICE	Internal combustion engine (内燃機関)
FY	Financial year (会計年度)
FAME	Faster Adaptation Manufacturing of Electric Vehicle
EMPS 2024	Electric Mobility Promotion Scheme-2024
AUTO PLI	AUTO Production Linked Incentive

一部を除いて、2025年2月10日付で作成しております。

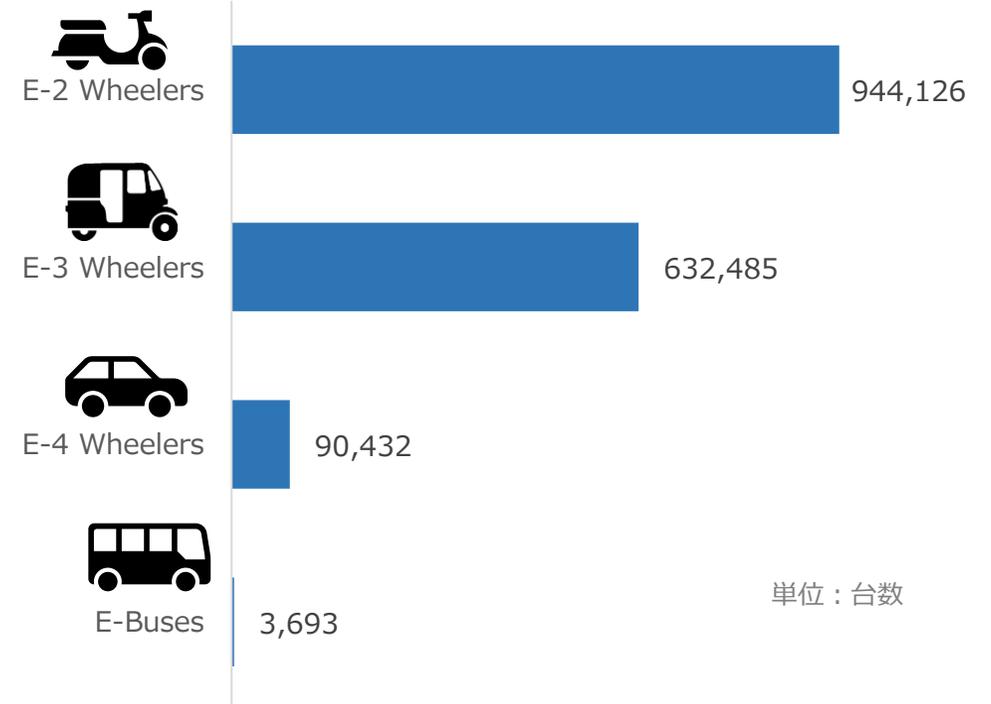
会計年度別のEV販売台数

- インドEV市場においては、2輪と3輪の販売台数が大半を占めている。ICE車より少し初期費用は高いものの、ランニングコストの差額で初期費用を回収することが可能なためと考えられる。一方で、4輪の販売台数は10万台に満たない。

会計年度別販売台数



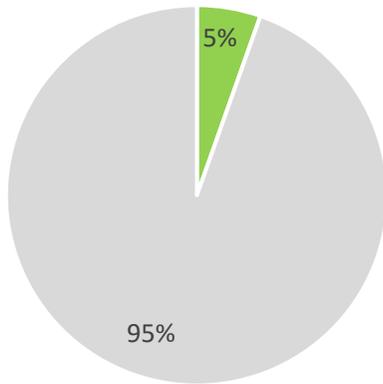
販売台数車両別：FY24



FY24 全体に占めるEV/ハイブリッドの割合

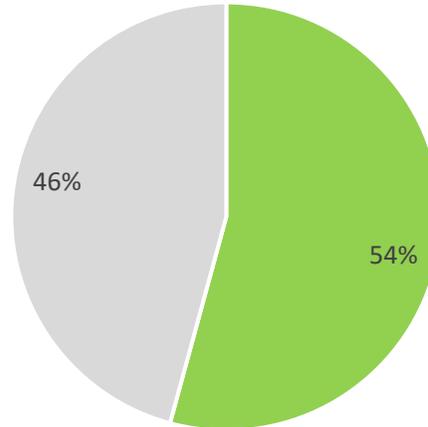
- 2-Wheelerと4-Wheelerの販売台数は上昇傾向にあるが、現時点ではガソリンタイプを含めた売上台数の割合では10%にも満たないのが現状である。
- 一方で、3-WheelerはEVの販売割合が50%以上となっており、EVが非常に多く販売されている。

2-Wheeler



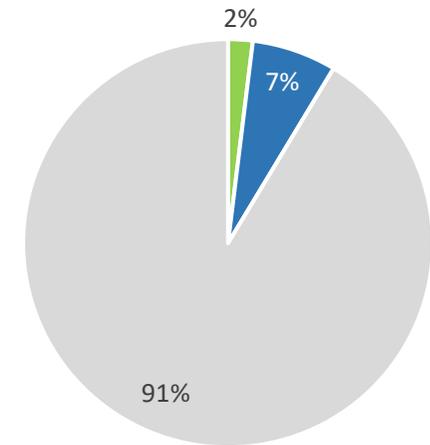
■ E-2-Wheeler ■ Other

3-Wheeler



■ E-3-Wheeler ■ Other

4-Wheeler

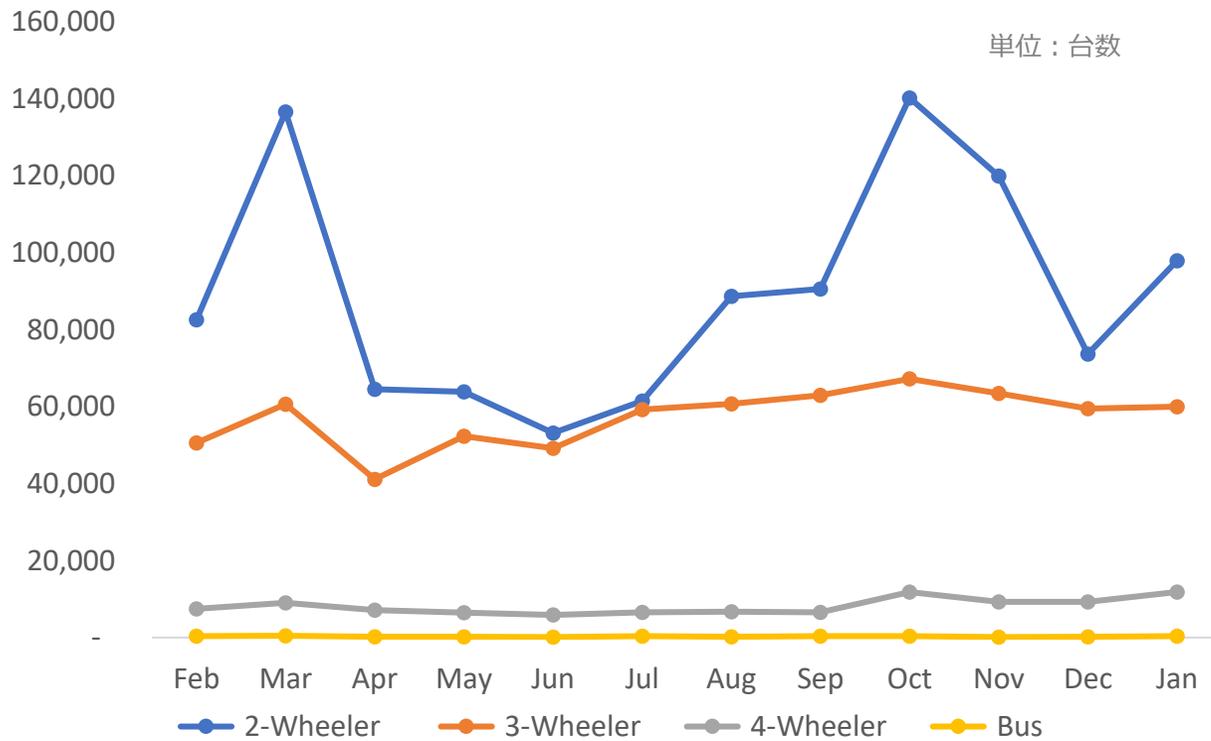


■ BEV ■ Hybrid ■ Other

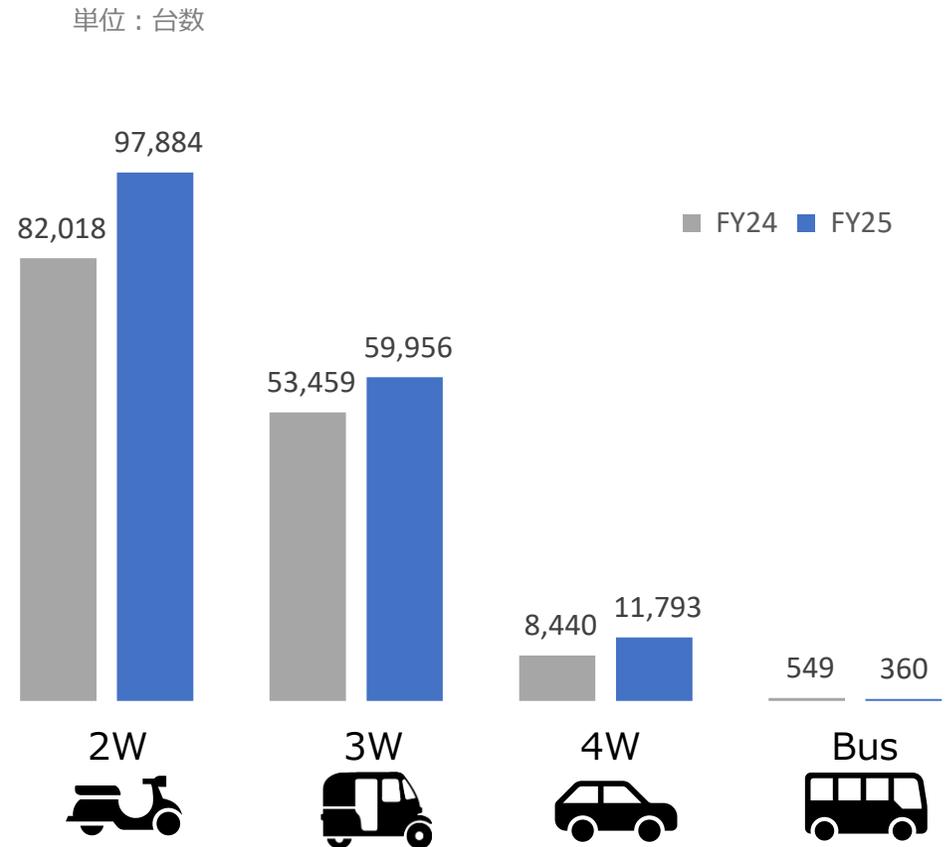
カテゴリー別販売台数比較

- ディワリの繁忙期が終わった12月の売上は落ち込んだが、1月は全体的に上昇傾向である。
- 1月の販売台数全円同月比では、バス以外のカテゴリーでFY25年が昨年を上回った。

過去1年間のカテゴリー別販売台数推移



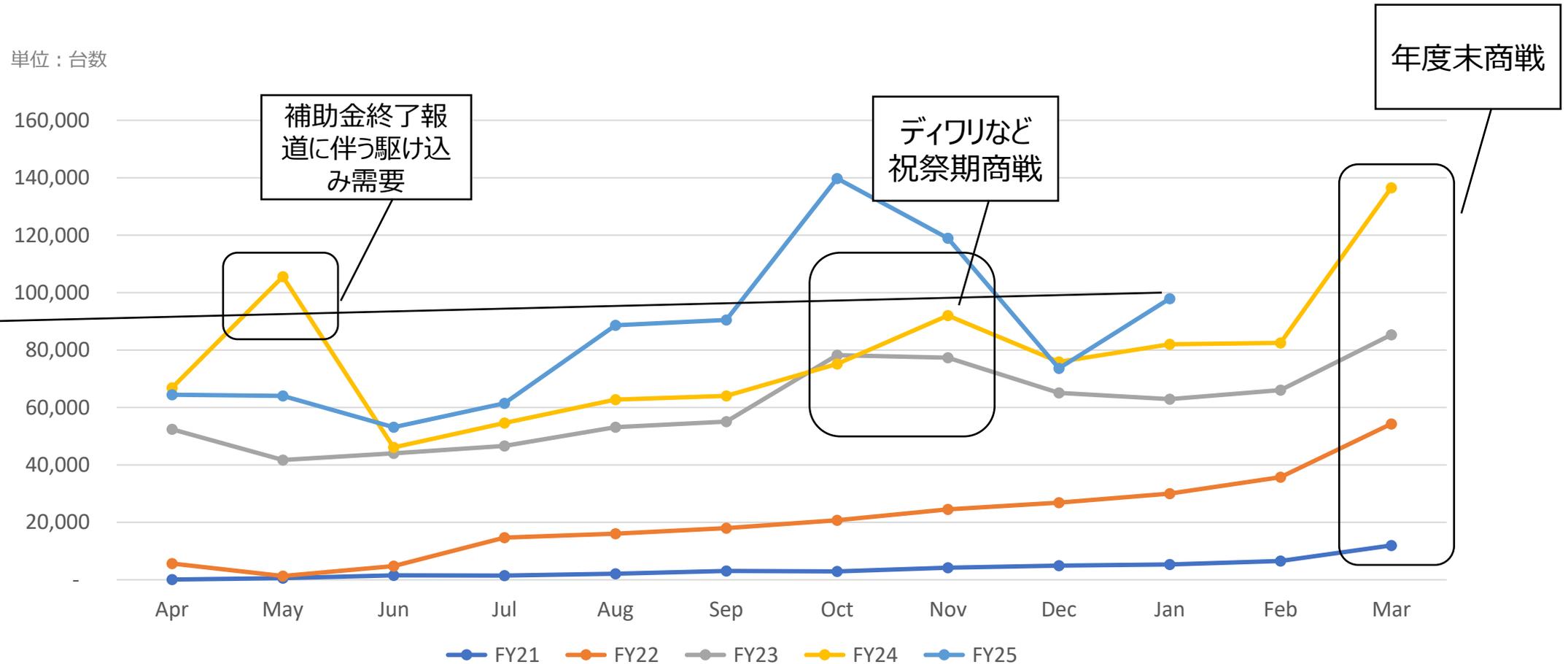
1月販売台数前年同月比：FY24 vs FY25



Source: SMEV. <https://www.smev.in/statistics>, VAHAN .
<https://vahan.parivahan.gov.in/vahan4dashboard/vahan/view/reportview.xhtml>
 (2025年1月30日).

会計年度別電動2輪車販売推移

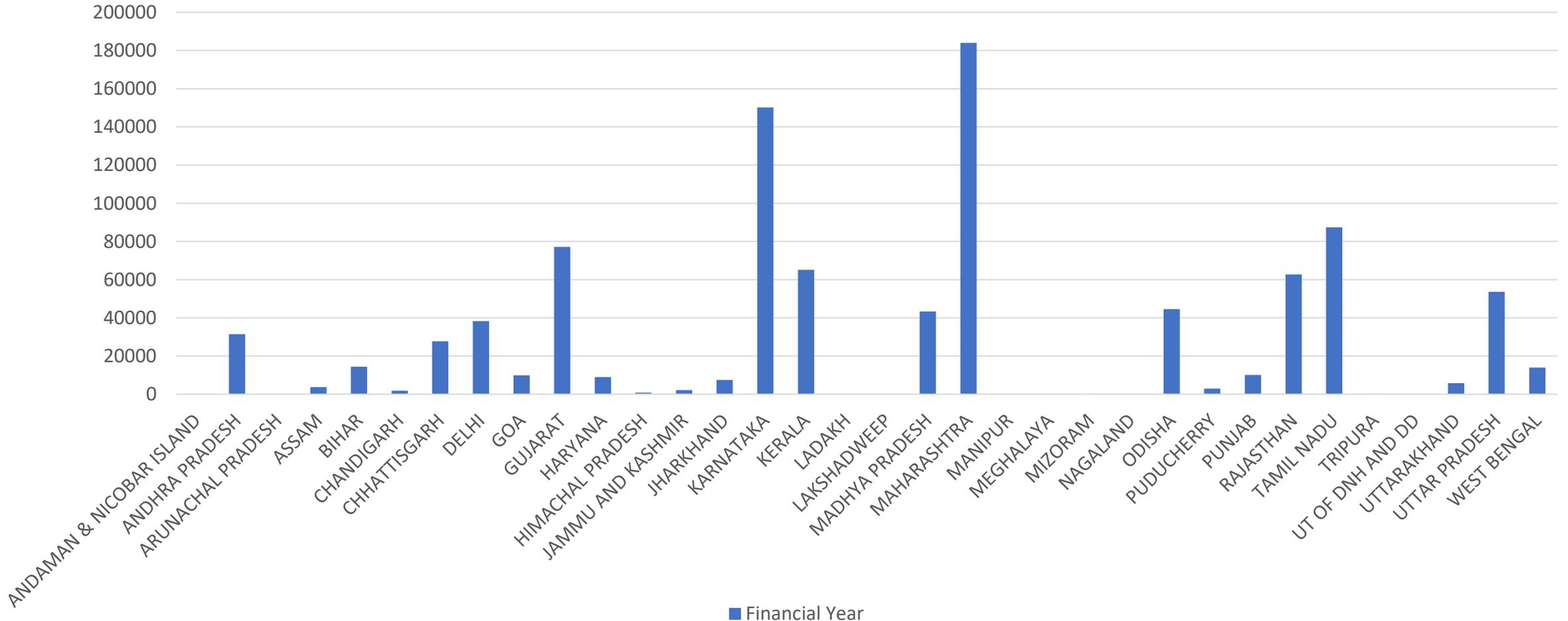
- 2輪カテゴリーは毎年販売台数を伸ばしており、FY24は一年間ほとんど全ての月で前年度を上回っている。
- インドにおける大きな商戦期は、祝祭期と年度末となっている。



Source: SMEV. <https://www.smev.in/statistics>, VAHAN .
<https://vahan.parivahan.gov.in/vahan4dashboard/vahan/view/reportview.xhtml>
 (2025年1月30日).

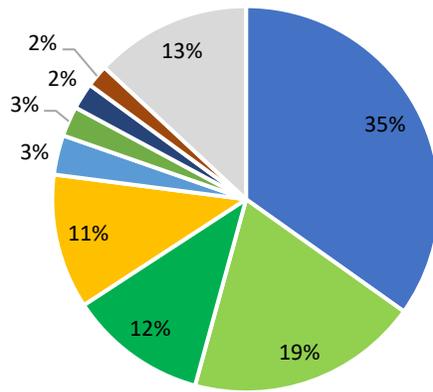
E-2W 地域別販売台数 FY 23-24

- カルナタカ、マハラシュトラ州を含む南インドで2wの販売台数割合が特に多い。

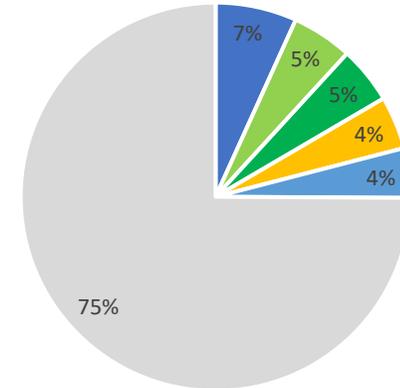


メーカー別販売シェア: FY24

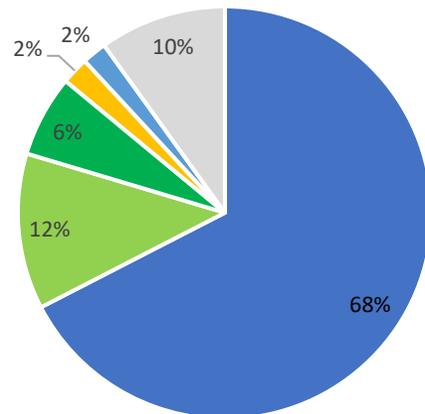
- 2輪は、OLAを筆頭にTVS, Ather, Bajajが続き、この上位4社で77%を占めている。
- 4輪は、現在ではTATAが市場シェアの3分の2を支配しており、続いてMGモーター、マヒンドラとなっている。



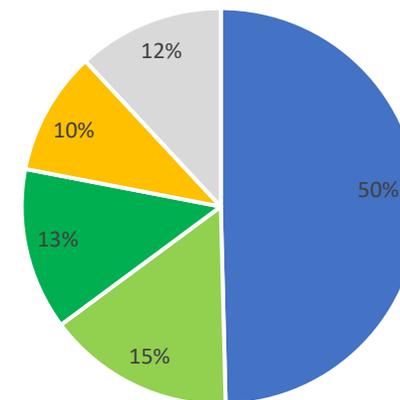
- OLA ELECTRIC
- TVS MOTOR
- ATHER ENERGY
- BAJAJ AUTO
- GREAVES ELECTRIC
- AMPERE VEHICLES
- OKINAWA AUTOTECH
- HERO MOTOCORP
- Other



- YC ELECTRIC VEHICLE
- MAHINDRA & MAHINDRA LIMITED
- SAERA ELECTRIC AUTO PVT LTD
- MAHINDRA LAST MILE MOBILITY LTD
- DILLI ELECTRIC AUTO PVT LTD
- Other



- TATA
- MG MOTOR
- MAHINDRA & MAHINDRA
- PCA AUTOMOBILES
- HYUNDAI MOTOR
- Other



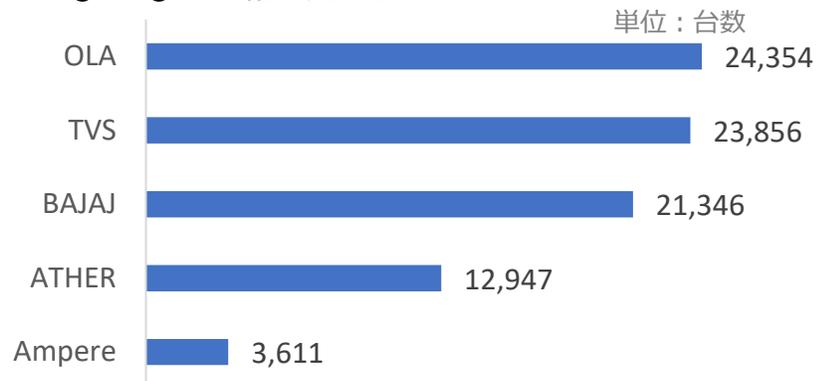
- TATA MOTORS LTD
- JBM AUTO LIMITED
- OLECTRA GREENTECH LTD
- PMI ELECTRO MOBILITY SOLUTIONS PRIVATE LIMITED
- Other

販売台数トップ5 EVブランド：2025年1月期

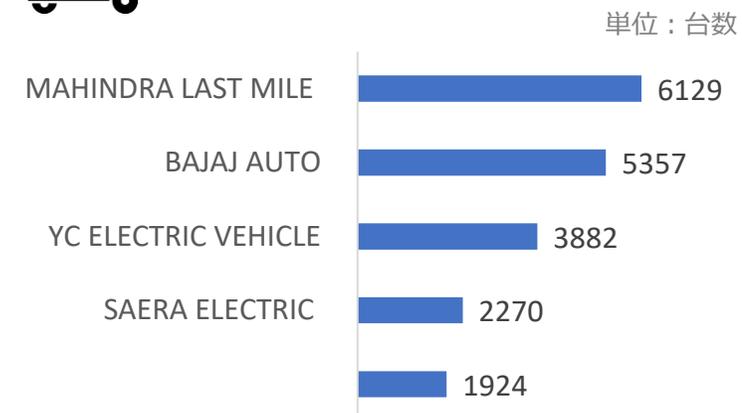
- 12月は、OLAがTVSとBAJAJに首位の座を譲る形となったが、1月はOLAが再度1位に浮上した。



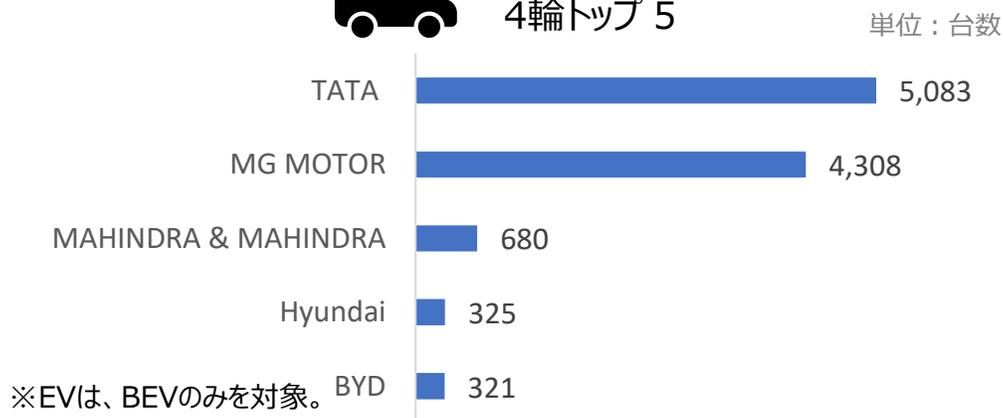
2輪トップ5



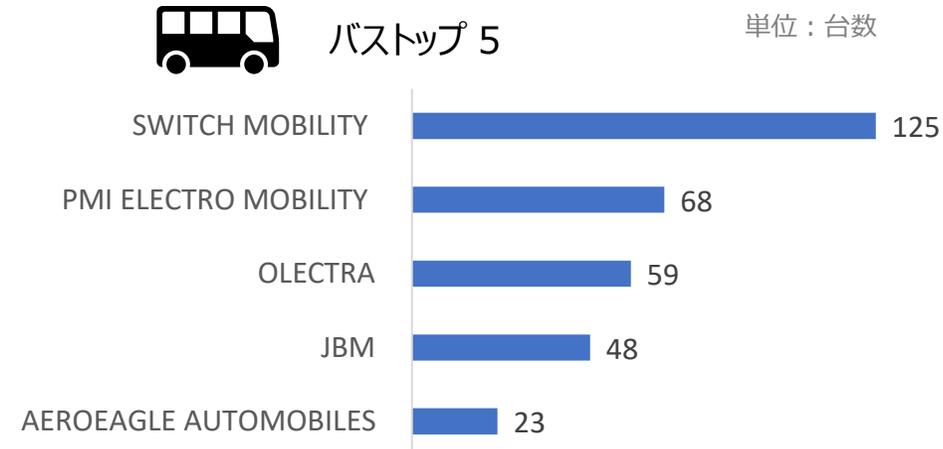
3輪トップ5



4輪トップ5



バストップ5



(出典) VAHAN. (2025年2月10日現在). <https://vahan.parivahan.gov.in/vahan4dashboard/vahan/view/reportview.xhtml>

ハイブリッド車1月度の販売台数及びEV車との比較

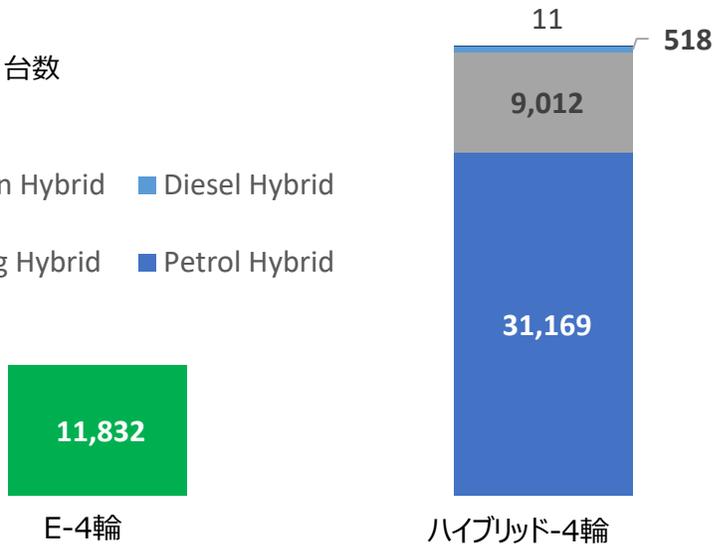
- EVとハイブリッド車の比較では、ハイブリッド車の販売台数は電動4輪を大きく上回っている。
- ハイブリッド車主力であるマルチ・スズキとトヨタが販売台数1位と2位であり、続いてEV主力のタタとなっている。現在のインドでは、ハイブリッド車が主流であるが、ストロングハイブリッド、プラグインハイブリッドは少ない。

EVとハイブリッド販売台数比較

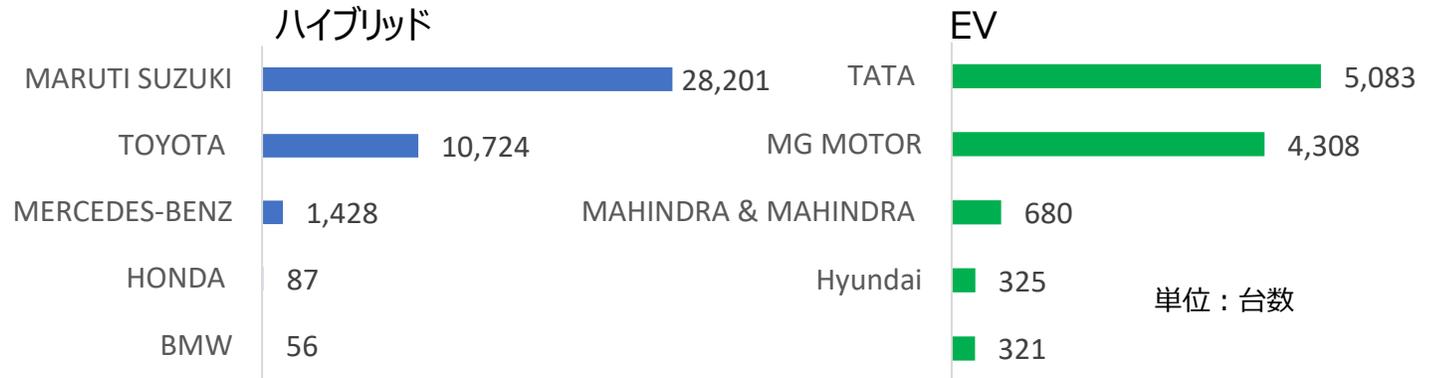
合計販売台数： **52,542** 台
(EV：11,832台、Hybrid：40,710台)

単位：台数

■ Plug-in Hybrid ■ Diesel Hybrid
■ Strong Hybrid ■ Petrol Hybrid

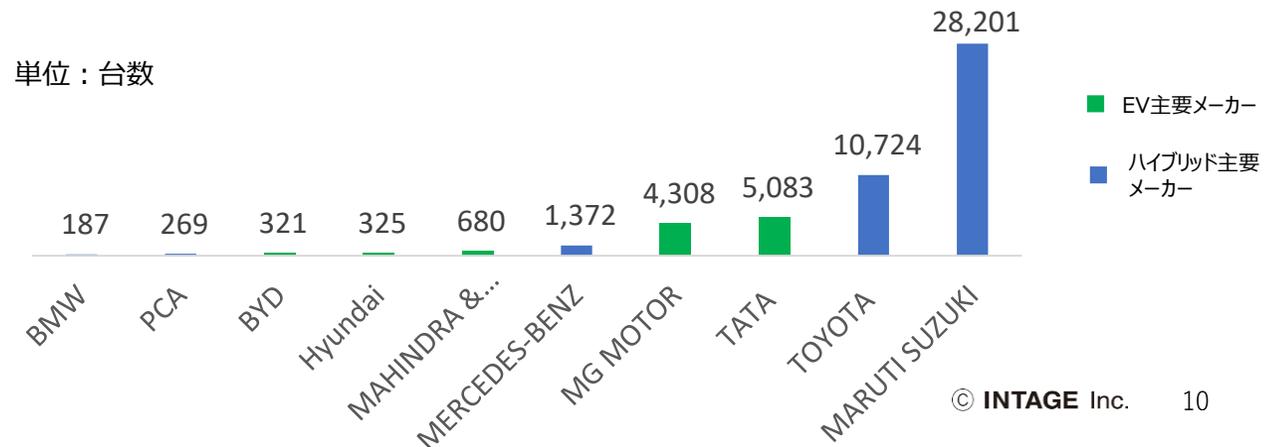


メーカー別EVとハイブリッド販売台数比較



単位：台数

メーカー別EVとハイブリッド合計販売台数比較



単位：台数

■ EV主要メーカー
■ ハイブリッド主要メーカー

※ハイブリッドは、ディーゼルハイブリッド、ペトロールハイブリッド、プラグインハイブリッド、ストロングハイブリッドを含んでいます。

(出典) VAHAN (2025年2月10日現在).

<https://vahan.parivahan.gov.in/vahan4dashboard/vahan/view/reportview.xhtml>

EVに関する政策の動向（終了）

- 2023年3月31日付でFaster Adaptation Manufacturing of Electric Vehicle (FAME 2) が終了し、4月1日より政府主導のもと新しい政策 Electric Mobility Promotion Scheme-2024 (EMPS 2024) が開始された。
- FAME 2では、3年で計画され（最終的には5年）、2輪・3輪だけではなく4輪・バスも対象であり、1,000億ルピーの予算が投下された。一方で、EMPS2024では、4か月間の実施で、予算も50億ルピー、対象のEVカテゴリーは2輪と3輪だけの予定である。
- 4輪とバスについてはすでに実施されている、Auto PLIとPM-eBus Sewa Schemeで支援が継続されるとのことである。

	FAME 2	EMPS 2024
実施期間	<ul style="list-style-type: none"> • 3年（最終的には5年）(2019年4月1日 - 2024年3月31日) 	<ul style="list-style-type: none"> • 4か月 (2024年4月1日 - 2024年9月31日) 7月31日から2か月延長
予算	<ul style="list-style-type: none"> • 1,000億 ルピー (最終的には, 1,150億 ルピー) 	<ul style="list-style-type: none"> • 50億ルピー (内、33億3,300万ルピーが、2輪に当てられる。)
対象車種	<ul style="list-style-type: none"> • e-2輪, e-3輪, e-4輪 Strong Hybrid 4W, PHEV, e-Buses 	<ul style="list-style-type: none"> • e-2輪 ・ e-3輪
消費者向け補助金額	<p>購入補助金額</p> <ul style="list-style-type: none"> • 10,000 ルピー/kWh バスを除くすべての車種（車両価格の20%まで） • 20,000 ルピー/kWh バス（車両価格の40%） <p>インセンティブ総額の目安</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2輪：20,000 ルピー • 3輪 (e-リキシャーを含む): 50,000 ルピー • 4輪：15,000ルピー 	<p>購入時補助金額</p> <ul style="list-style-type: none"> • 5,000ルピー/kWh for e-2輪 ・ e-3輪 <p>インセンティブ最大額（もしくは、工場出荷額の15%のどちらか低い方）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2輪: 10,000 ルピー • E-リキシャー ・ e-カート: 25,000 ルピー • E-3輪 (L5 カテゴリー): 50,000 ルピー
メーカー向け補助金	<ul style="list-style-type: none"> • メーカーは販売奨励金として、払い戻しを受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> • メーカーは販売奨励金として、払い戻しを受ける。
国内製造要件	<ul style="list-style-type: none"> • 製造の国内化 • Phase manufacturing Program (PMP) が適用される。 	<ul style="list-style-type: none"> • 製造の国内化 • Phase manufacturing Program (PMP) が適用される。
充電ステーションの設置	<ul style="list-style-type: none"> • 充電ステーションの設置支援 	<ul style="list-style-type: none"> • 計画されていない。

(出典) Ministry of Heavy Industries
<https://heavyindustries.gov.in/sites/default/files/2024-03/emps-2024.pdf>
https://fame2.heavyindustries.gov.in/content/english/11_1_PolicyDocument.aspx

4輪に関する政策 AUTO PLI 概要

- EV完成車メーカー・先進部品メーカーを対象にした生産連動型補助金のスキームとなっており、インセンティブ率などが異なる。

項目	OEM向けインセンティブスキーム	コンポーネント企業向けインセンティブスキーム
対象製品	<ul style="list-style-type: none"> 電池電気自動車完成車 水素燃料電池車完成車 	<ul style="list-style-type: none"> 先進の自動車技術を使った部品 CKD/SKDキット 車両アグリゲート
条件	<p>OEM</p> <ul style="list-style-type: none"> グローバルグループ収益（自動車および/または自動車部品製造による）：1,000億ルピー 投資：当社またはそのグループ会社による固定資産(総額) 3,00億ルピーの投資。 最低国内新規投資条件あり。 	<p>部品</p> <ul style="list-style-type: none"> グローバルグループ収益（自動車および/または自動車部品製造による）：50億ルピー 投資：当社またはそのグループ会社による固定資産(総額) 15億ルピーの投資。 最低国内新規投資条件あり。
インセンティブ率	<ul style="list-style-type: none"> 販売額の13~16% 	<ul style="list-style-type: none"> 販売額の8~11%
追加インセンティブ	<ul style="list-style-type: none"> 累計1,000億ルピー超で+2% 	<ul style="list-style-type: none"> 累計125億ルピー超で+2% 電気自動車/水素燃料電池車向けに+5%
その他条件	<ul style="list-style-type: none"> 国内付加価値50%以上 翌年以降10%以上の売上げが必要 	

(出典) myscheme. <https://www.myscheme.gov.in/schemes/plisaaci#eligibility>

EV関連ニュース:2025年1月

• 2025-2026年度連邦予算がインドの電気自動車業界にもたらす変化

連邦政府は2025年～2026年度の連邦予算委むえて準備を進めている。EV業界の関係者は財務大臣に対して、製造と消費者中心の課題に取り組むため、この分野の価格、インフラ、イノベーションを強化する改革を要請した。業界関係者は、補助金や減税などを求めている。

<https://economictimes.indiatimes.com/industry/renewables/how-the-union-budget-2025-26-could-change-the-electric-vehicle-landscape-in-india/articleshow/117597877.cms?from=mdr>

• シュコダはインドでの新しい政策の投資に意欲

同社は、インドの新しいEV政策への投資を検討しているが、同社は、充電運フラの課題や電気自動車の受容性の低さのため、政府にハイブリッド車やプラグインハイブリッド車も対象に含めるように求めている。インドの新しいEV政策は、5億ドル以上を投資するメーカーに輸入関税の補助金を提供する。シュコダは、今年上半期に予定されている他の政策とともにこの政策を評価している。今後同社は、電気自動車のEnyaq、Superbセダン、Kodiaq SUVを含む可能性のある新モデルが計画されている。

<https://economictimes.indiatimes.com/industry/renewables/skoda-keen-to-invest-in-indias-new-ev-policy/articleshow/117685417.cms?from=mdr>

• BYD SEALION 7 EV を発売。

BYDは、インドでSEALION7を発売した。2つのモデルが発表され、それぞれ542キロと567キロ航続距離だ。SEALIONは、3月に納車を始める予定である。

<https://economictimes.indiatimes.com/industry/renewables/byd-launches-sealion-7-ev-in-india-deliveries-to-begin-in-march/articleshow/117367112.cms?from=mdr>

• バッテリー交換は現時点では非現実的か。

ピューシュ・ゴヤル商務大臣が自動車メーカーとの会合で、インドで電気自動車（EV）の普及を加速させるには、充電インフラと共存するバッテリー交換が必要であると強調した。一方で、インドの大手電動二輪車メーカーは、バッテリーの「交換」は現時点では実行不可能であり、消費者にとって車両を運転するコストが増加するだけなので、魅力のない提案だと述べた。電動スクーターの1日あたりの平均走行距離が業界平均で28～30kmと低いため、2Wsでは交換は意味がないかもしれない。

https://www.business-standard.com/industry/auto/battery-swapping-currently-unviable-e2w-firms-125010600885_1.html

• 起亜は、3列ハイブリッドSUVを開発中

4輪大手起亜インドは、同社のラインナップのSeltosの上位モデルとして3列SUVの開発に着手しているようだ。Mahindra XUV700やTATA Safariのライバルになると考えられており、国際市場で展開されているSorentoをベースにすると考えられている。また、同ブランド初のストロングハイブリッドになる可能性が高いと言われている。加えて、姉妹ブランドである現代も3列SUVを準備しており、ガソリンハイブリッドになると予想されている。

<https://www.autocarindia.com/car-news/kia-three-row-hybrid-suv-under-development-to-rival-xuv700-safari-434178>



Create Consumer-centric Values

お客様企業のマーケティングに寄り添い、共に生活者の幸せを実現する

Contact

info-india@intage.com